

就労移行支援事業

R4年3月 移行支援体力強化月間！！

外での仕事が少なかった冬・・・
温かい部屋で座る作業が多かった時期を過ごし、皆の体力も少し落ちてきたかな・・・
と感じたため、3月は体力強化月間にしました！
4月からの施設外のお仕事に向けて、体力作りに取り組んでいます。

取り組み

その① **歩く！！とにかく歩く！！**
散歩ではありません。体力強化です。そのため、だらだら歩くのではなく、ペースを崩さず、腕をしっかり振って歩きました。最後ダッシュをする訓練生もいました。

Wow!



その② 縄跳び！

My 縄跳びを持参する訓練生・・・
昼休みに自主的に「縄とびしてきます！」という訓練生・・・
初めは「やりたくないーい!!!」と言っていた訓練生・・・
でも実際には二重跳びが数十回も跳べたりと皆外で思いっきり跳んでいます。



GOOD



支援学校卒業生のご紹介

今年度は新たに1名の方を迎え、スタートしました。
社会人1年目！Nさんの抱負を紹介します。
『報告や質問など働く上で必要な力を身に付けたいです。
一生懸命頑張ります。よろしくお願いします。』



就労継続支援B型事業

祝 成人！おめでとうございます！

今年はB型から2名の方が成人を迎えました。コロナ禍の中、まだまだ思うようにいかない状況は続きますが、目標に向かって一步一步前進する姿を楽しみにしています。

～記念品贈呈～



～今後の意気込みを聞きました！～



しっかりと挨拶ができる大人になりたいです。
作業所では、納品や受取の作業に挑戦したいです！
M. S

～飛騨地区障がい者～《手に手をつなごう 作品展》

2月26日、27日に高山市民文化会館で行われた『手に手をつなごう作品展』に青空作業所からも何名かが出展しました。それぞれの作品に出展者の想いが込められており、素晴らしい作品ばかりでした。



高山西ロータリークラブ会長賞受賞
作品名「ポケモンたちの岐阜観光」
大平貴也さん

“ポケモン達が岐阜を旅した”をテーマに、素晴らしい作品になりました。
いつかウウウを「ポケモンローカルActs」の『岐阜応援ポケモン』として、公式採用してほしいです！！

新しいメンバーが加わりました！

この春支援学校を卒業し、青空作業所に来てくれました。
これからよろしくお願いします！



自分から挨拶やコミュニケーションをとっていきたいです。
これからよろしくお願いします！

○お願い○

リサイクル封筒を作成する際に、カレンダーを使用しています。不要な未使用のカレンダー（裏面が無地のもの）があれば、お譲り頂けるとありがたいです。ご連絡頂ければ、取りに伺います！
ご協力の程よろしくお願いします。

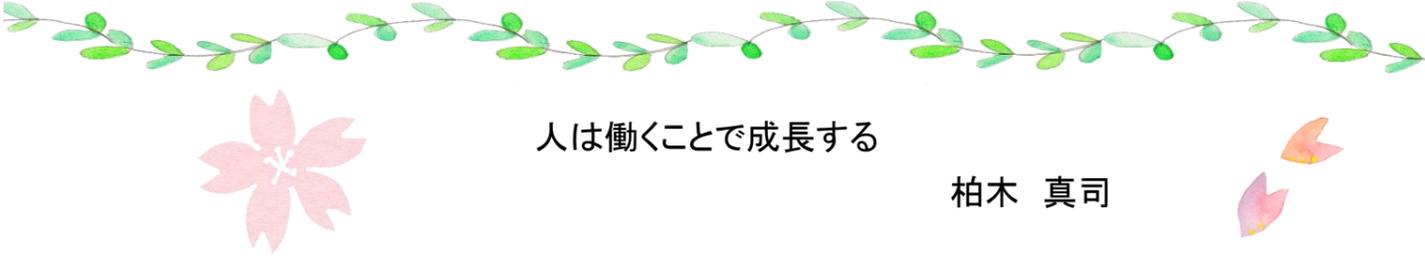
《お礼のコーナー》 ◇◆◇タオルを寄付していただきました◆◆◇ （順不同）
青葉の会

その他多数、利用者の方のご家族からも寄付して頂きました。誠にありがとうございました。引き続き、不要なタオルや布等があれば、お譲り頂けるとありがたいです。ご協力の程よろしくお願いします。



新年度 取り組み紹介

障がい者虐待防止法の改正に合わせ、令和4年4月1日より虐待防止委員会を設置いたしました。利用していただく皆様への権利擁護・虐待の未然防止に向け、責任者を設置し年間計画の作成、年複数回の研修、セルフチェックシートを活用した分析・防止、職員行動規範の周知徹底、防止マニュアルの見直しなどを行い、誠実な事業運営、支援の質の向上に取り組んで参りたいと思います。



人は働くことで成長する

柏木 真司

私が一番苦手なことは人前で話すことです。職業カウンセラーとして経験を積んでいくとどうしても研修会等の講師として話す機会が増えるのです。私もその役割が回ってくるようになりました。いくら嫌でも仕事なので避けるわけにはいきません。まずは原稿を作り、先輩に内容を確認してもらい、何度も何度も読む練習をし、当日を迎えました。参加者の顔を見る余裕などなく、ひたすら原稿を読みまくる。どこで息継ぎしたかもわからないくらい緊張しました。

このような棒読み講義を何度か繰り返していると、あることに気づきました。人は私の話なんか聞いていないということです。参加者の様子を見ると寝ていたり、外を見ていたり、私の話を聞いているのは一握りの真面目な人か、とびきり集中力の高い人でした。話を聞いていないのだから、緊張するのは無駄だと考えるようになりました。

では何故話を聞いてくれないのか。理由は簡単です。私の話がわからない、おもしろくないからです。以前は、あれも話したい、これも伝えたいと欲張った内容となり、一方的に聞かされる大量の情報により、結局は私が何を伝えたいのか相手は理解できないままに終わるといった状態でした。1回のお話で記憶に残る内容は精々1つか2つ程度です。そのことがわかってからは、伝えることのポイントを絞って話すようにしました。(相手のニーズを把握し、それに合わせて話のポイントを絞るという作業が思いの外難しいのです。)そしてその他の内容は雑談のようなものです。このように考え方を替えて話すようになってからは、以前よりも参加者の反応が良くなったように思えました。

私は高校時代、人前で話すと緊張し声が震え、赤面し、そのことが恥ずかしく学校に行けなくなり、不登校状態となりました。そのような私が人前で話せるようになったのは、仕事という鍛錬のおかげです。「人は働くことで社会的に成長する」これが私の実感です。

(第4回終)



青空通信

NPO 法人 ウェルコミュニティ飛騨 青空作業所
高山市山口町 1297-1 0577-35-1559
<https://www.welcom-aozora.com/>
令和4年 4月 7日発行 第52号



理事長挨拶

柏木真司

心待ちにした春となりました。今年は年明けから度々の大雪に見舞われ、さらには長引く自粛生活も重なり、例年以上に春への期待が高まったように感じます。

皆様にはウェルコミュニティ飛騨 青空作業所の活動に対し御支援を賜り厚く御礼申し上げます。新年度を迎え、職員一同気持ちも新たに希望をもって日々の業務に取り組んで参りたいと思います。

さて、先日全国障害者就労支援ローカルネットワークの研修大会がオンラインで開催されました。その中の就労移行支援事業の今後のあり方を検討する分科会に参加しました。全国的に就労移行支援事業の利用者数は年々増加の傾向にありますが、それに反して事業所数は平成30年度を境に減少してきています。その背景には平成30年度に実施された報酬改定が影響しています。都会型の大規模就労移行支援事業所は拡大する一方で、地方の小規模就労移行支援事業所は閉鎖していくといった現状があります。

就労移行支援事業の灯を地域で消さないためにどうしたらよいかを分科会で検討しました。その中で出た意見の一つが就労定着支援の重要性です。就労移行支援事業の修了者を6ヶ月間フォローした後、就労定着支援のサービスに繋げていくといった手厚い支援が就労移行支援事業の強みになるといった意見です。私も同感ですが、一つ気になるのが「定着」という表現です。以前のように一つの会社に永年勤続することが良しといった考え方は変わり、職業選択の自由のもと、自己の成長や生活の質の向上の為に転職は当たり前の時代になっています。障がいがあるからといって一つの会社に定着する必要は無いと思います。

青空作業所の就労定着支援では、働き続ける為の支援だけではなく、前向きな転職に繋げる支援も行っています。大切なのは働くことにより経済的にも精神的にも豊かになるための支援であると思います。